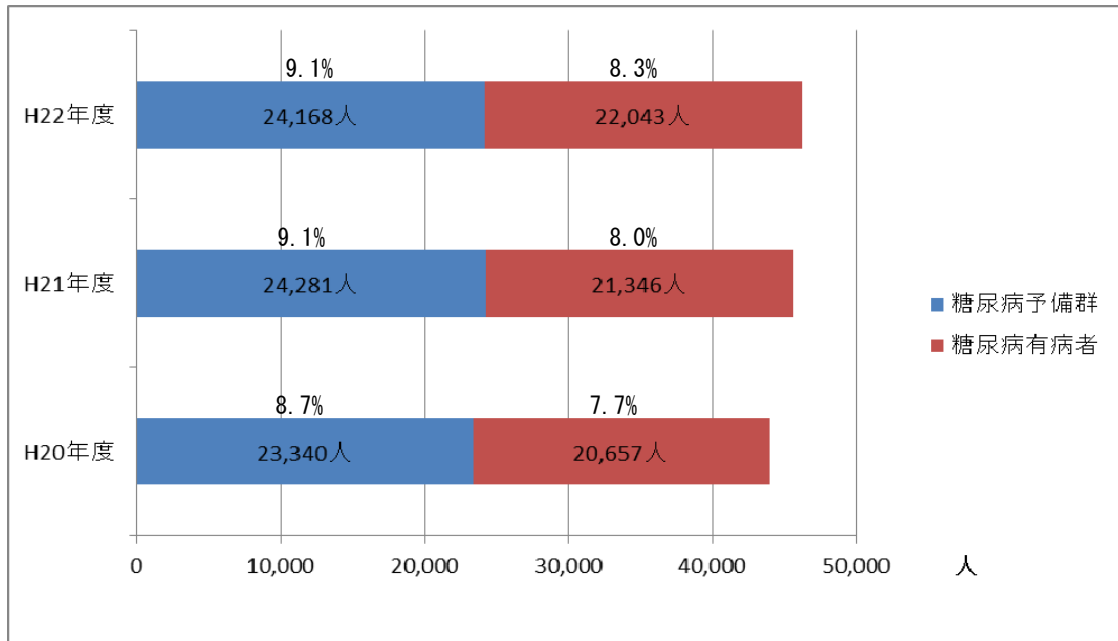


### 3 県民の生活習慣病の現状

#### (1) 糖尿病の現状

##### ア 県内の糖尿病の予備群及び有病者の推移

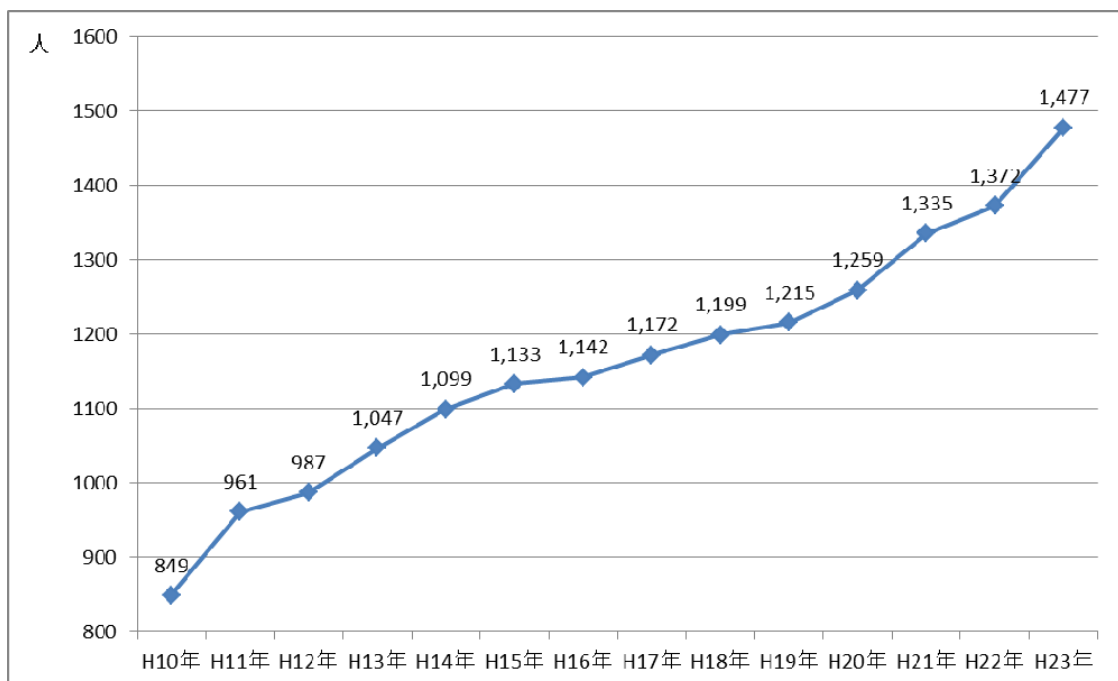
市町村が実施した特定健診受診者の情報から、糖尿病の予備群及び有病者の数を推定すると合わせて46,211人、その割合は17.4%となり、特定健診が始まった平成20年度の数値から上昇傾向にあります。



(出典：市町村国保における特定健康診査実績)

##### イ 県内の人工透析患者数の推移

県内の人工透析患者数は年々増加しています。(人工透析になる原因の1位は、糖尿病腎症によるものです。)



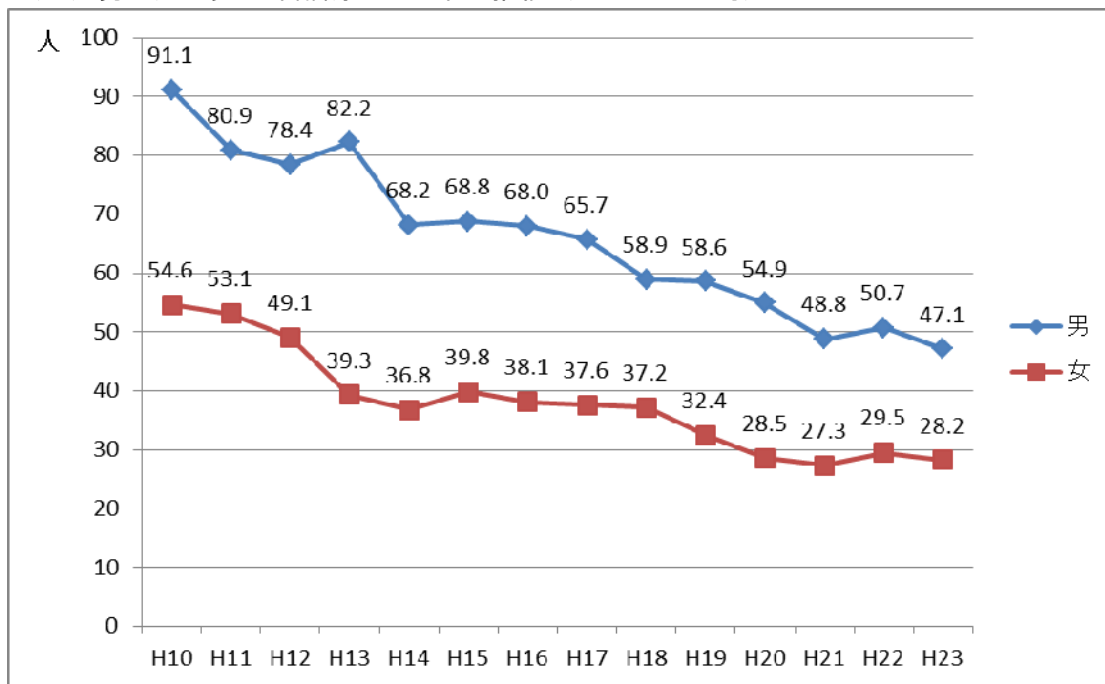
(出典：財団法人鳥取県臓器バンク調べ)

(2) 循環器病の現状

ア 県内の脳血管疾患の年齢調整死亡率の推移（人口10万対）

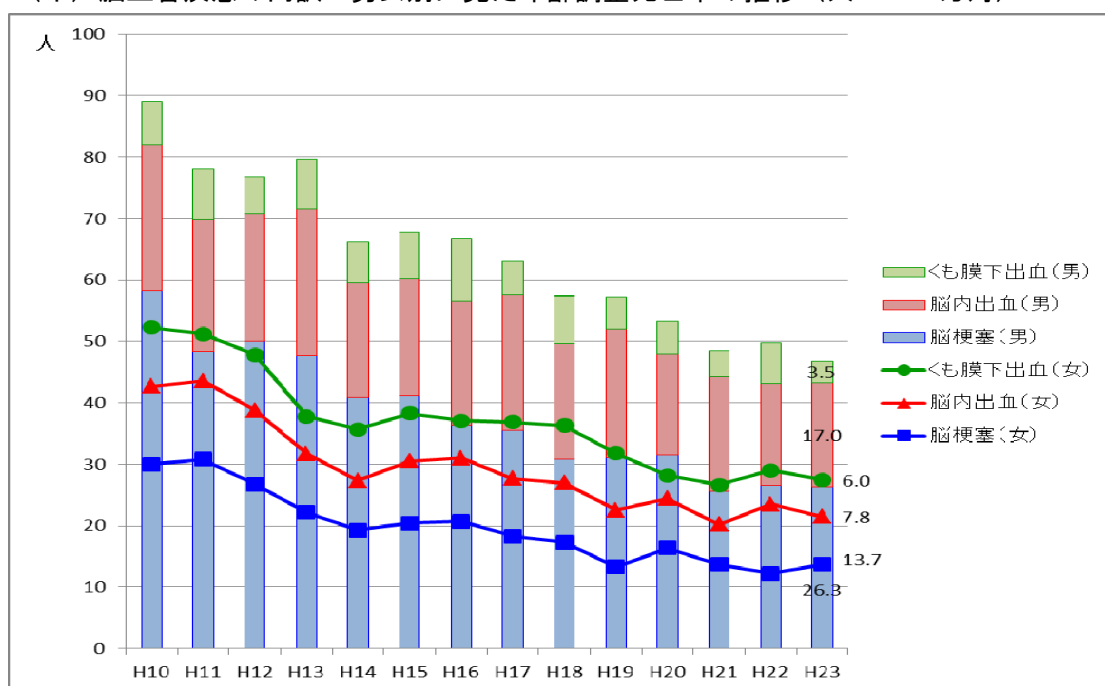
県内の脳血管疾患の年齢調整死亡率は、女性と比べ男性が高い状況ですが、男女とも減少傾向にあります。また、脳血管疾患の内訳ごとに年齢調整死亡率を見ると、脳梗塞が最も多い状況ですが、その年齢調整死亡率は減少傾向にあります。

(ア) 男女別に見た年齢調整死亡率の推移（人口10万対）



(出典：厚生労働省「人口動態統計」)

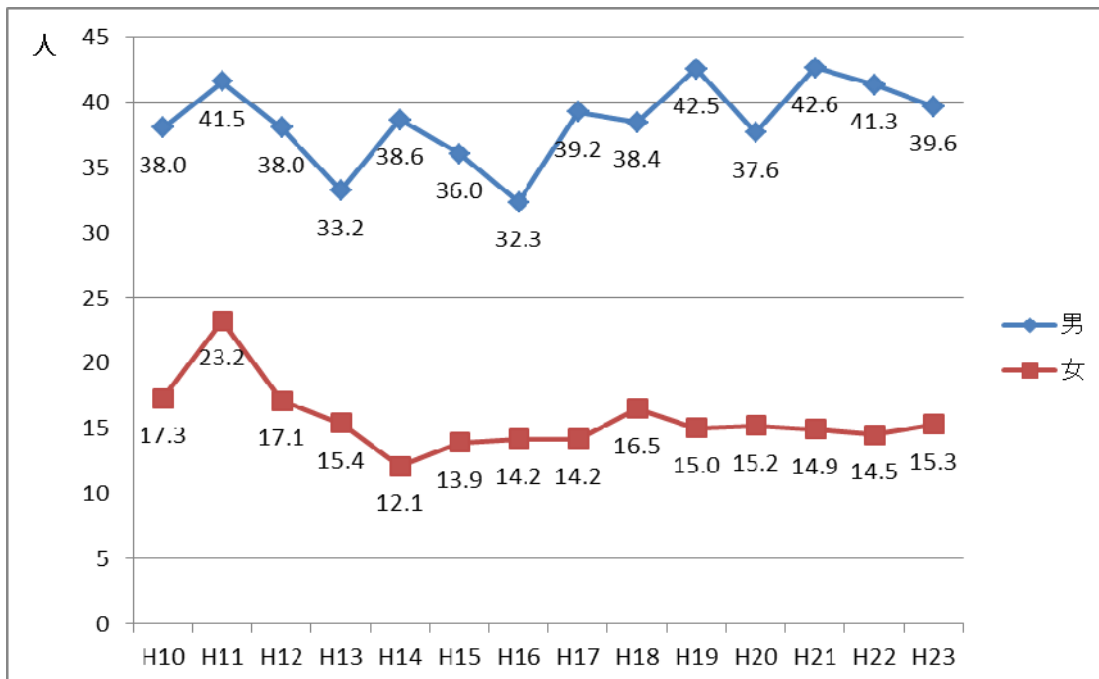
(イ) 脳血管疾患の内訳・男女別に見た年齢調整死亡率の推移（人口10万対）



(出典：厚生労働省「人口動態統計」)

イ 県内の虚血性心疾患の年齢調整死亡率の推移（人口10万対）

県内の虚血性心疾患の年齢調整死亡率は、女性と比べ男性が高い状況であり、その推移は、ほぼ横ばいの状況です。

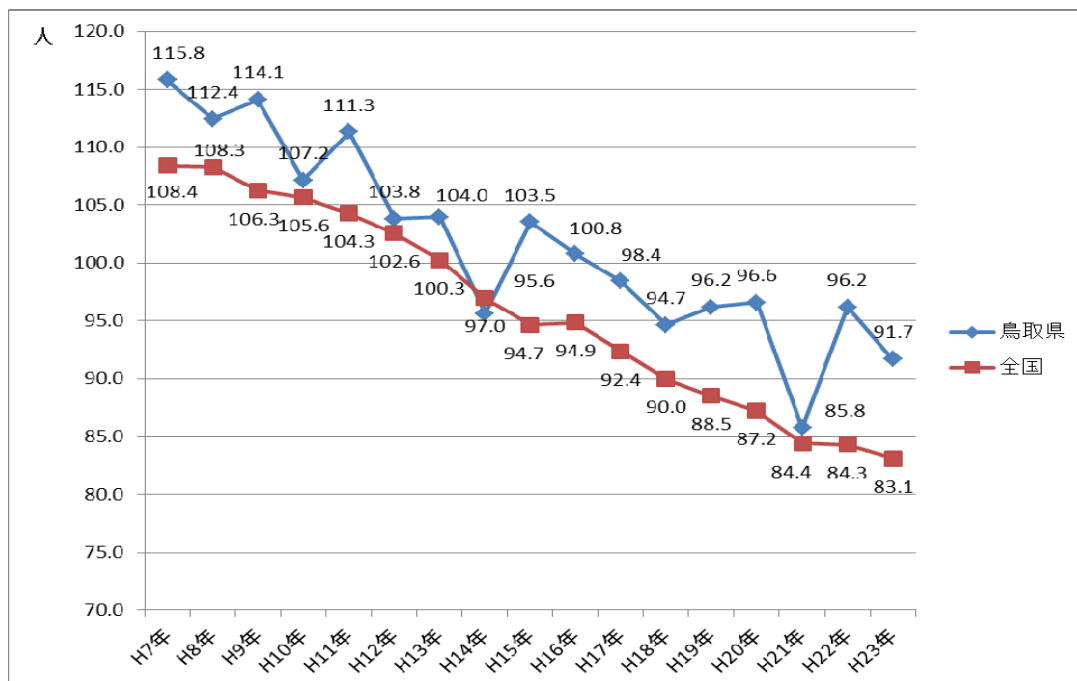


（出典：厚生労働省「人口動態統計」）

(3) がんの現状

ア 75歳未満がん年齢調整死亡率（人口10万対）

本県の75歳未満がん年齢調整死亡率（人口10万対）は、年々減少傾向にあるものの、全国平均より高く（悪く）推移しています。

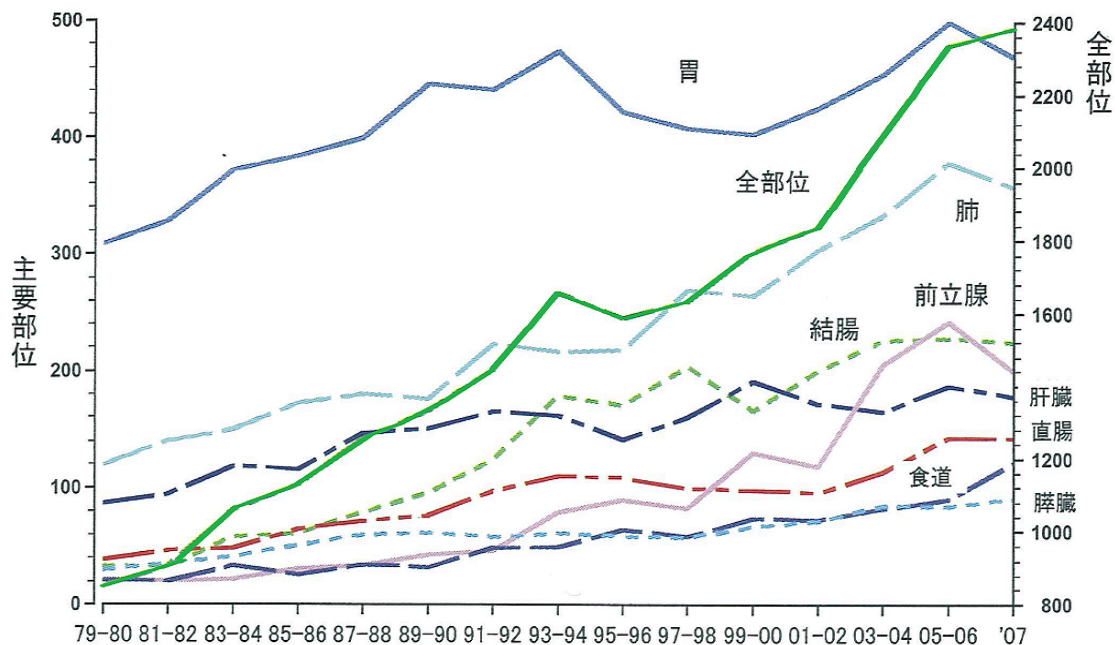


（出典：国立がん研究センター「75歳未満がん年齢調整死亡率（人口10万対）」）

イ 部位別がん罹患の年次推移（男女）

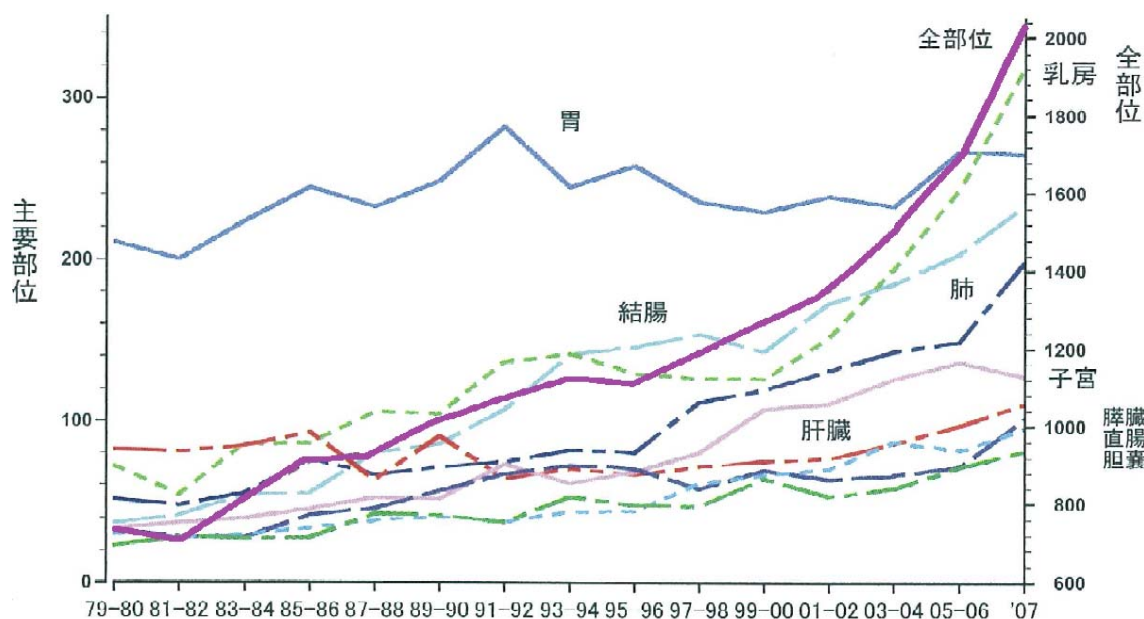
男女とも全部位の罹患数が増加しています。  
 男性は、胃がん、肺がん、前立腺がん、結腸がんなどが増加傾向にあります。  
 女性は「乳がん」の増加が顕著。「結腸がん」、「肺がん」、「子宮がん」、が増加傾向にあります。

(ア) 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移（男）



(出典：鳥取県がん登録事業報告書「平成19年標準集計結果」)

(イ) 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移（女）

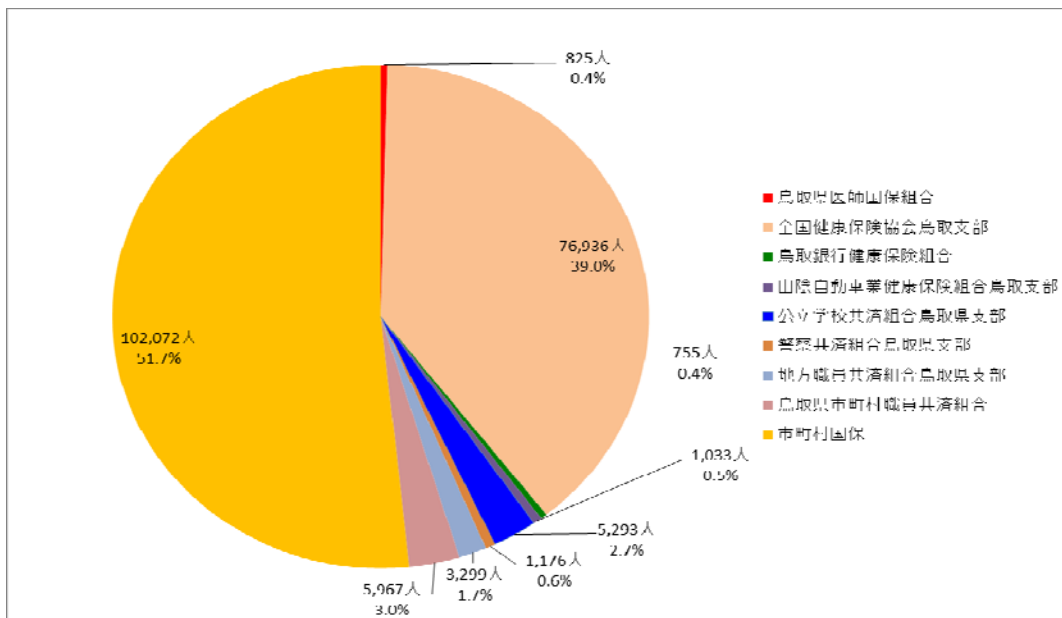


(出典：鳥取県がん登録事業報告書「平成19年標準集計結果」)

#### 4 本県の特定健診の受診状況

##### ア 県内各保険者の特定健診対象者数の構成状況（40～74歳）

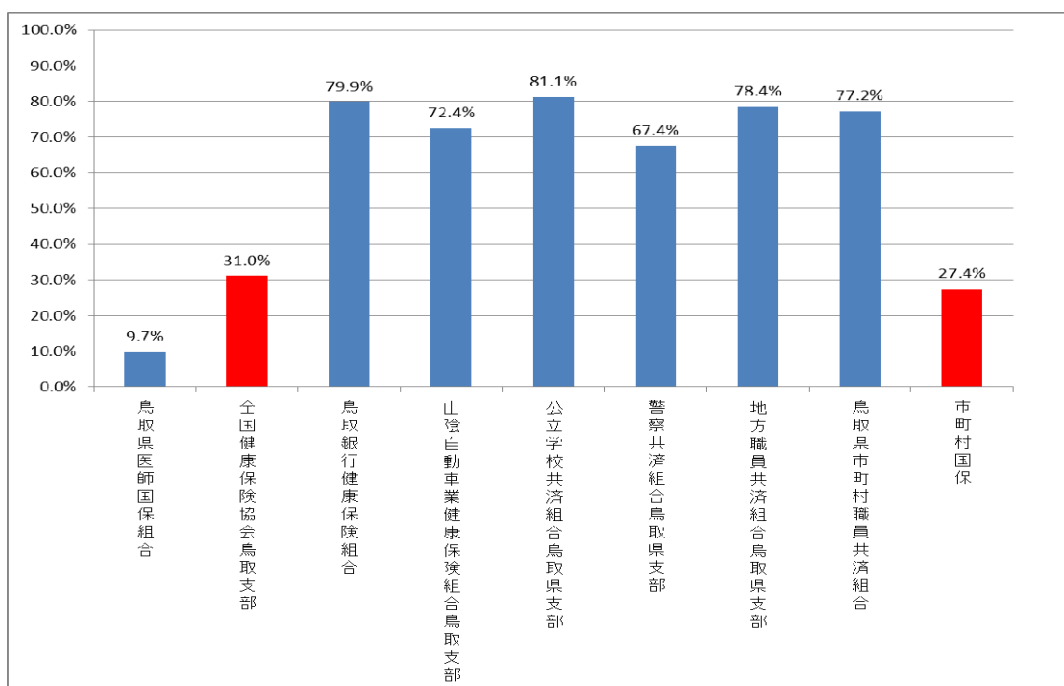
県内各保険者の特定健診対象者の殆どを全国健康保険協会（協会けんぽ）鳥取支部と市町村国保が占め、合わせて全体の90.7%となっています。なお、被用者保険（市町村国保を除く）の割合は、48.3%となっています。



（出典：平成22年度特定健診・特定保健指導実施状況（国への法定報告））

##### イ 県内各保険者の特定健診受診率

特定健診受診率を保険者ごとに見ると、全国健康保険協会（協会けんぽ）鳥取支部と市町村国保が特定健診対象者のほとんどを占めているにもかかわらず、両者の受診率が低くなっています。なお、特定健診対象者のうち、働き盛り世代（40、50代）の占める割合は、両者で大きく異なり、全国健康保険協会鳥取支部が73.1%、市町村国保が29.3%となっています。

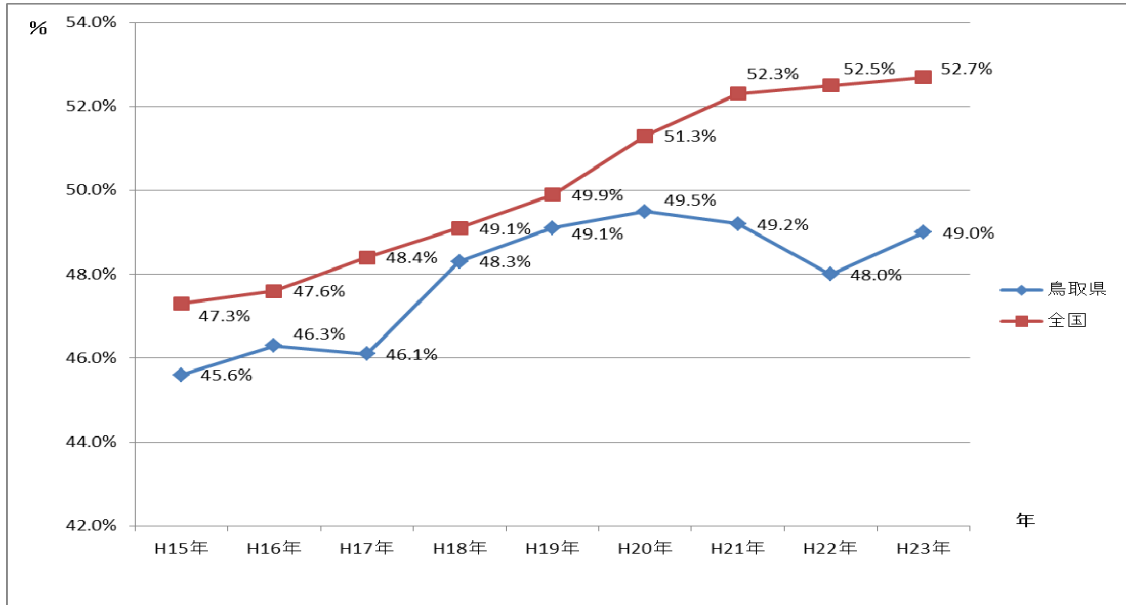


（出典：平成22年度特定健診・特定保健指導実施状況（国への法定報告））

## 5 本県の職域の健康状況

### (1) 一般健康診断(※)の有所見率の推移

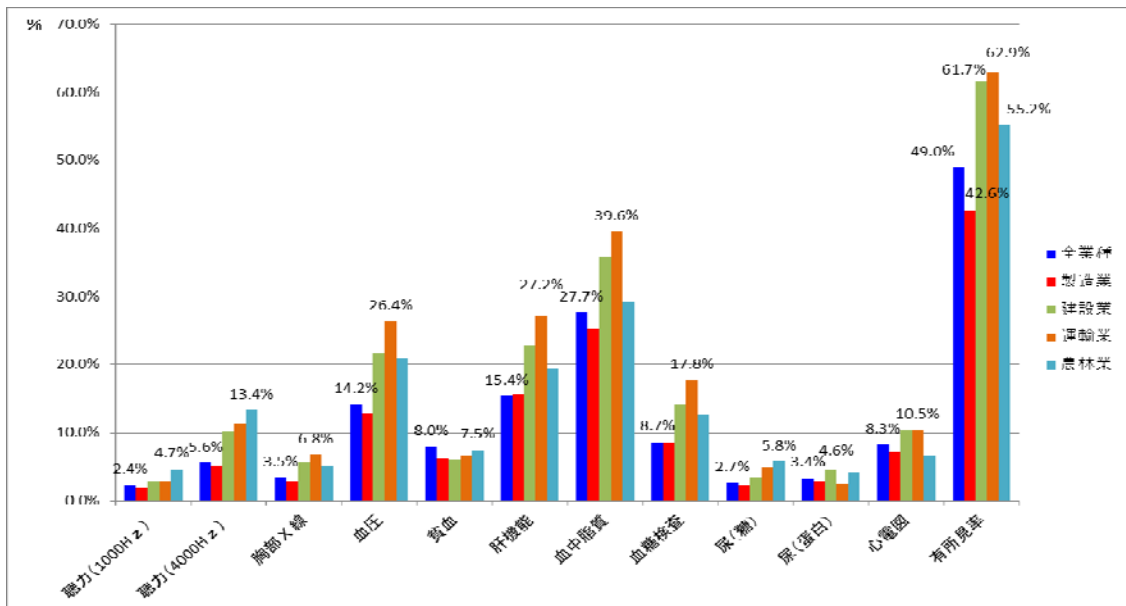
鳥取県における定期健康診断の有所見率は49.0%で、全国における同所見率(52.7%)よりも低くなっていますが、およそ労働者の2人に1人に何らかの所見がある状況であり、長期的にみると増加傾向にあります。



(出典：鳥取労働局「労働衛生統計資料」)

### (2) 一般健康診断(※)の結果から見る鳥取県業種別の有所見率の状況(平成23年)

定期健康診断の健診項目をみると、血中脂質、血圧、血糖検査といった脳・心臓疾患関係の主な検査項目で有所見率が高く、中でも血中脂質が最も高くなっています。また、定期健康診断の有所見率を業種別にみると、運輸業が最も高く、多くの項目で他の業種の平均値より高くなっています。



(出典：鳥取労働局「労働衛生統計資料」)

(※) 県内の50人以上を使用する事業所から提出のあった一般健康診断のデータから分析したもの。